



あなたの心に  
安らぎと  
希望を届ける

TV番組

ライフ・ライン

涙がこぼれる時も  
叫び届かない時も  
誰かと一緒にまた一歩  
いつのまにか  
空は晴れている

イラスト:みなみなみ

テレビ埼玉  
10月8日(土)  
あさ8時～

たましいの慰め ころの余裕 堀 肇牧師

牧師であり大学の講師、カウンセラーで、多数の著書を執筆している堀牧師の著書『たましいの慰め ころの余裕』（2000年発売）が、新たに4編の書き下ろしを加え、改定出版されました。この本は牧師として、カウンセラーとして多くの方と関わってきた堀牧師が、たましいが慰められるとは、どういうことかを具体的に綴ったエッセーです。この本について、たましいの慰めについてお話を伺います。



人は、衣食住があれば生きることにはできません。しかし、衣食住が足りればそれで済むかというところ、そう簡単ではありません。それだけでは、本当に生きている充足感を味わうことができないのです。

人の生活を規定しているのは、その人の内にある「ことば」だと言われます。心にある「ことば」が、私たち一人ひとりの人生観や世界観や価値観を定めているのです。

私たちは、生まれた直後から様々な語りかけを受けながら成長してきました。そして、それらが積み重ねられて、価値観や人生観が構築されていくわけです。そして、

「自分は駄目な人間だ」とか「自分は愛される価値がない」とか勝手に思い込みんだり、また逆に「自分は人より勝っている」とか自信過剰になつてしまつてもあるのです。

人はいろいろな「ことば」を心に受け入れていく中で、成長して行くのです。ですから、どのような「ことば」を受け入れ、どのような「ことば」に信頼して生きていくかということが、私たちの人生を生かす大切な問題なのです。

聖書は何と言っているのでしょうか。聖書は、「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る生きていることばが人の命の糧となる」と言っています。

音書 4章4節)と教えています。

人が生きているのは、神の「ことば」によるのだということです。人が人として本来あるべき姿で「生きる」ためには、変わることをない「ことば」を、「神の「ことば」を心の真ん中に据えて、その「ことば」によつて生きていくことが必要なのです。

では、神様は、私たちにどう語りかけてくださっているのでしょうか。「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」「イザヤ書 43章4節」と語りかけてくださっています。また、「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない」「ヘブル人への手紙 13章5節」と約束してくださっています。

人生は、どんな「ことば」に支配されているかによつて変わっていきます。神様は聖書を通して私たちに、愛と真実の「ことば」を、恵みの「ことば」を、そして希望の「ことば」、知恵の「ことば」、戒めの「ことば」を語りかけてくださいます。その「ことば」によつて、私たちは、人として本来あるべき道に導かれていくのです。

あなたも「生かすことば」が書かれた聖書を学んでみませんか？ テレビ番組「ライフ・ライン」では、聖書の「ことば」によつて生かされているクリスチャンのライフスタイルや体験談を紹介していきます。ぜひご覧下さい。

聖書 聖書 研究のふところ 聖書の心

王献リリテ  
(土)日8月01  
〜朝8時迄

TV番組

ライフライン

ライフ・ライン番組ホームページ  
<http://tv-lifeline.com>